



第16回北坂戸ファミリークリニック 地域連携セミナー

平素は当院の診療業務にご理解、ご協力頂きましてありがとうございます。
2022年3月23日に第16回となります、地域連携セミナーを開催いたしました。
新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、前回同様にウェブ配信という形で
講演させていただきました。ご協力いただきましたノバルティスファーマ株式会
社様にはこの場をお借りし感謝申し上げます。
今回は、以下のテーマで症例報告を致しました。

<テーマ>

『在宅療養における意思決定支援

～ACPを軸にした家族との合意形成～』

ケアマネジャーを始め、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリの介入があった
症例で、介入当初～終末期における患者や関わる家族の気持ちの変化につ
いて振り返り、発表を行いました。

<セミナー演者>

関越訪問看護ステーションたんぽぽ	看護師	横山千晶様
カナオ訪問看護リハビリテーション鶴ヶ島	理学療法士	望月佑樹様
北坂戸ファミリークリニック院長		野口哲

セミナーでは、3名の症例報告とともに、それぞれ症例における課題や問題点、そして今後の
改善・対応策をお話していただきました。

また、看護師、理学療法士、医師と様々な視点での問題もお話していただきました。
講演後、ウェブ上で以下のテーマでグループディスカッションを行いました。

1 「他施設からの紹介された終末期患者において、意思決定支援・
家族との合意形成で苦労した経験」

2 「意思決定支援を行う際に工夫されていることや意識していること、
意識している行動」

コロナ禍ということで、対面でのセミナーが困難な中、多職種で話し合いをする
機会を今後ご提供できればと考えております。

たくさんの方にご参加いただきましてありがとうございました。

～セミナーディスカッション内容～

◎終末期患者において、意思決定支援・家族との合意形成で苦労した経験

- ・本人は自宅療養を希望しているが家族は難しいと考え、意見の相違がある場合
- ・本人、家族に不安や戸惑いが多く、状況や現状の説明を行っても理解が困難な場合
- ・多職種でのコミュニケーションが少なく、治療方針や最後の動きに苦慮した
- ・KPを含め本人周囲のギャラリーが多くなるほど話の食い違いなどが生まれる

◎意思決定支援を行う際に工夫されていることや意識していること、意識している行動

- ・患者に係る全員に時間を割き、よく話を聞くようにしている(ケアマネージャー)
- ・医師からの説明を患者や家族がどう受け止めているかの確認を行っている(看護師)
- ・多職種との連携や情報共有は必須であり、話し合いの場が必要である

～講演を終えて～

《関越訪問看護ステーションたんぼぼ 看護師 横山千晶様》

他職種での連携の取り方を模索していく必要があると感じました。

今回のセミナーのディスカッションでは、他職種の方々と交流することができ、とても有意義でした。

《カナオ訪問看護リハビリテーション鶴ヶ島 理学療法士 望月佑樹様》

今回のセミナーを通じ症例の様々な振り返り、他職種の視点など大変勉強になりました。

また、他施設様との交流を通じ今後の連携に繋げるきっかけとなりました。引き続き、地域貢献させて頂きたいと思っております。

《北坂戸ファミリークリニック 院長 野口哲》

今回の症例の患者様をあらためて振り返り、大切な経験が出来たこと、今回の地域連携セミナーで感じる事ができました。

時間に限りがある中、演者の方々、ディスカッションに参加された方々の思いなど聴くことができ、視聴されている方々にとっても有意義な時間となったと感じております。

次回の地域連携セミナーは2022年8月頃を予定しております。詳細が決まり次第ご案内させていただきます。

次回の参加も何卒よろしくお願い申し上げます。

最後までお読みいただきまして、ありがとうございました。

また、今後の要望等ございましたら、下記連絡先に電話又はFAX等でご連絡ください。

地域の相談窓口として、セミナーへの要望・業務での疑問でも結構ですので、お気軽にご連絡ください。

北坂戸ファミリークリニック 〒350-0229 埼玉県坂戸市薬師町3-2 TEL:049-280-8080 FAX:049-210-3812